

2022年度

自動認識の基礎知識セミナー

自動認識の基礎知識セミナーは、どなたでも参加できる自動認識技術の入門講座として、一次元・二次元シンボルやRFID(電子タグ)、バイオメトリクス(生体認証)の基礎知識を図式や事例を交えて分かり易く解説します。

講座と対象者、申込方法

講座	バーコード、RFID、バイオメトリクス
対象者	どなたでもご参加頂けます。特に新入社員・新任担当者の方に最適です。
URL	https://www.jaisa.or.jp/seminar.php (Webサイト)
申込	kiso-seminar@jaisa.or.jp (e-mail)

実施形態

[1] 自動認識の基礎知識セミナー (集合形式)

* オンライン受講可能

開催日	①4/27(水) ②5/20(金) ③6/10(金) ④9/30(金) ⑤10/21(金) ⑥12/9(金)
開催時間	10:00 ~ 17:30 (昼食、休憩含む)
開催場所	(一社)日本自動認識システム協会 会議室
講義内容	バーコード、RFID、バイオメトリクスの基礎的な知識、活用方法・応用事例ほか
募集人員	40名(先着順)
受講費用	一般価格 22,000円/人(税込)、会員特別価格 11,000円/人(税込)

[2] 自動認識の基礎知識セミナー (講師派遣)

* オンライン受講可能

開催日	ご要望により実施
開催場所	ご指定場所
講義内容	バーコード、RFID、バイオメトリクスの各科目を各1講座として、1回の派遣につき2講座以上にて対応します。講座の組合せはご要望に従って実施します。 ※RFIDの実演に関しては免許の関係により別途ご相談
実施料金	一般価格 1講座 66,000万円(税込)、会員特別価格 1講座 33,000円(税込)
交通費等	講師交通費・宿泊費・日当等は講師人数分を別途ご負担願います。(100Km圏内は除く)
その他	セミナー会場の確保とプロジェクターの準備をお願いします。

< 講義時間 > 1時間45分(予定)

- ・標準化とは
- ・自動認識とは
- ・バーコードとは
- ・バーコードの歴史
- ・バーコードで何が出来る？
- ・バーコードのデータ
- ・ユニークIDとデータベース
- ・バーコードの種類と特徴
- ・バーコードの印字品質
- ・どのようにして読んでいるの

自動認識 (AIDC) とは

Automatic Identification and Data Capture techniques

人、動(植)物、物、情報などに付加されたデータキャリアの情報を、人間を介さずハード、ソフトを含む機器により自動的に取得する技術。



< EAN-13(JAN-13) >



< ITF-14(物流ITF) >



< GS1データバー >



< QRコード >



< データマトリックス >

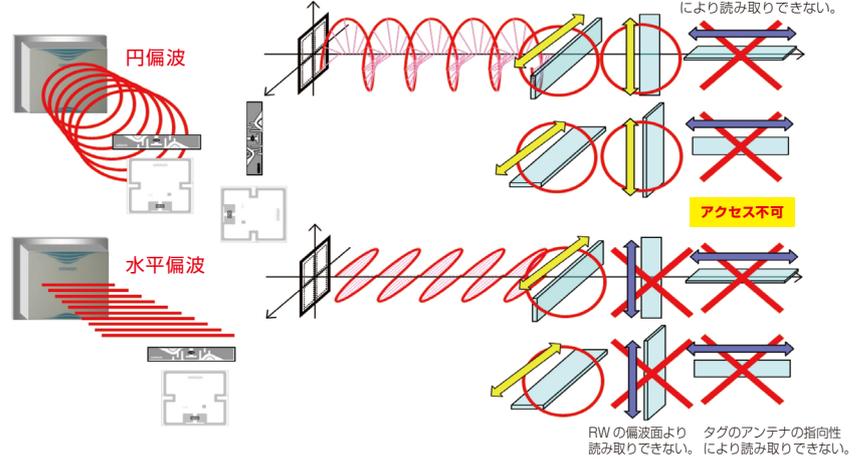


< GS1合成シンボル >

< 講義時間 > 2時間30分(予定)

- ・RFIDとは
- ・RFIDで何が出来る？
- ・RFIDの種類と特徴
- ・電波法って何？
- ・RFIDの標準化とは
- ・UHF帯RFIDの特徴
- ・13.56MHz帯RFIDの特徴
- ・コンビニやアパレルの事例
- ・機器を動かしてみよう

リーダライタアンテナの偏波と、RFタグの指向性



< 講義時間 > 1時間45分(予定)

- ・バイオメトリクス(生体認証)とは
- ・どうして使われたの？
- ・何に使われているの？
- ・認証の仕組み
- ・バイオメトリクスの種類と特徴
- ・使用するうえでの留意点
- ・バイオメトリクスに関わる標準化
- ・最近のトピックス

バイオメトリクス(生体認証)ってなに？

- バイオメトリクス(生体認証)を使ったことありますか？
- どのくらい使われていると思いますか？



身体的特徴を応用

